

5th長崎QDG

(5th長崎Software Quality and Development Gathering)

オープニング & 開催レポート

NaITE (長崎 I T 技術者会)

5th長崎QDG

(5th長崎Software Quality and Development Gathering)

オープニング

NaITE (長崎 I T 技術者会)

5th長崎QDG オープニング

(5th長崎Software Quality and Development Gathering)

5th長崎実行委員長、NaITE（長崎 I T 技術者会） 代表
池田 暁

最初にご挨拶申し上げます

参加者の皆様へ

- 本日は貴重なお時間をさいてご参加いただき、ありがとうございます

講演者の皆様へ

- 本日は貴重なお話をいただき、ありがとうございます

サポータ・ご後援サポーターの皆様へ

- 本日はQDGと参加者をご支援くださり、ありがとうございます

NaITEとは

NaITE(長崎IT技術者会)に
ついて
簡単にご説明いたします。

NaITE(長崎IT技術者会)とは

長崎出身や在住、かつて在住など、
長崎になんらかのかかわりや興味を持つ
技術者の交流会としてスタート！

長崎とありますが、
興味がある方はどなたでも気軽にご参加いただけます！

長崎現地にかかわらず、
全国各地で勉強会やイベントを開催しています！

SIG活動にも取り組み、
ガイド等を無料にて公開しています！

2015年4月に開始した 完全ボランティアの有志活動です！



参加者とのチャンネル

公式サイト

- ・勉強会レポートなどを掲載しています。

<https://naite.swquality.jp/>

twitter

- ・勉強会レポート, 勉強会開催などを案内しています。

NaITE公式: [@NagasakiITEng](#) NaITE長崎支部公式: [@NaITE_Nagasaki](#) QDG公式: [@NagasakiQDG](#)

Facebook

- ・勉強会レポート, 勉強会開催などを案内しています。

<https://www.facebook.com/NagasakiITEngineers>

slack

- ・雑談, 質問, 気軽に会話できる交流の場です。

https://join.slack.com/t/naite/shared_invite/zt-74rwlivo-ctfz1XeOL5sdXSExL7C94A

あらためて長崎IT技術者会とは

長崎在住および出身、興味があるIT技術者を中心とした会

- ソフトウェア品質技術やソフトウェア開発技術の話題を中心に、オンラインや長崎をはじめとした全国各地での勉強会、オフ会などで交流

本会は主に以下の方を想定していますが、興味ある方であればどなたでもご参加いただけます

- 長崎に在住のIT技術者
- 長崎在住していたIT技術者
- 長崎出身のIT技術者
- 長崎に縁があったり興味がある方

勉強会・SIGについて

- 全国各地で開催します
- 研究会活動により、ガイド等を公開します

勉強会・イベント開催実績(2019年～) 1/6

#	開催日	内容	開催地
—	2019/01/19	<u>NaITE もくもく会 vol.1</u>	福岡
—	2019/01/19	<u>NaITE-Night vol.3</u>	福岡
第29回	2019/02/02	<u>SierからWebサービスの会社に転職して考えた何を開発するか？の考え方</u>	神奈川
—	2019/02/23	<u>NaITE もくもく会 vol.2</u>	福岡
—	2019/03/16	<u>NaITE もくもく会 vol.3</u>	福岡

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に、福岡、長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催

勉強会・イベント開催実績(2019年～)2/6

#	開催日	内容	開催地
第30回	2019/03/23	<u>プルリクとの上手な付き合い方 and もくもく会</u>	長崎
第31回	2019/04/07	<u>テストレベル定義について考える</u>	東京
—	2019/04/13	<u>NaITEもくもく会 vol.4 in 福岡</u>	神奈川
—	2019/04/13	<u>NaITE Night vol.5 in Fukuoka</u>	福岡
—	2019/05/18	<u>NaITEもくもく会 vol.5 in 福岡</u>	福岡
—	2019/05/18	<u>NaITE Night vol.6 in Fukuoka</u>	福岡

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に, 福岡, 長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催

勉強会・イベント開催実績(2019年～)3/6

#	開催日	内容	開催地
—	2019/06/15	<u>NaITEもくもく会 vol.6 in 福岡</u>	福岡
—	2019/06/15	<u>NaITE Night vol.7 in Fukuoka</u>	福岡
第32回	2019/06/29	<u>機械学習のモデルのぞいてみない？</u>	神奈川
—	2019/07/13	<u>NaITEもくもく会 vol.7 in 福岡</u>	福岡
—	2019/07/13	<u>NaITE Night vol.8 in Fukuoka</u>	福岡
—	2019/07/27	<u>Agile Japan 2019 長崎サテライト with NaITE</u>	長崎

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に、福岡、長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催



勉強会・イベント開催実績(2019年～) 4/6

#	開催日	内容	開催地
—	2019/07/27	<u>NaITE Night vol.9 in Nagasaki</u>	長崎
—	2019/08/24	<u>NaITE もぐもぐ会 in 2019-08</u>	福岡
—	2019/09/07	<u>NaITEもくもく会 vol.8 in 福岡</u>	福岡
—	2019/09/07	<u>NaITE Night vol.10 in Fukuoka</u>	福岡
第33回	2019/09/29	<u>ユニットテスト入門</u>	神奈川
—	2019/10/05	<u>NaITEもくもく会 vol.9 in 福岡</u>	福岡

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に、福岡、長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催

勉強会・イベント開催実績(2019年～)5/6

#	開催日	内容	開催地
—	2019/10/05	<u>NaITE Night vol.11 in Fukuoka</u>	福岡
—	2019/10/25	<u>4th 長崎 Software Quality and Development Gathering</u>	長崎
—	2019/10/25	<u>NaITE Night vol.12 in Nagasaki</u>	長崎
—	2019/10/26	<u>NaITE - Tours in Nagasaki vol.2</u>	長崎
第34回	2019/11/04	<u>JSTQB Advanced Level テストアナリスト試験対策勉強について</u>	神奈川
第35回	2020/01/18	<u>Redmineうまくつかえてる？～つかえませんでした！にならないために～</u>	神奈川

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に、福岡、長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催



勉強会・イベント開催実績(2019年～) 6/6

#	開催日	内容	開催地
—	2020/02/01	<u>【初心者向け】ソフトウェアテスト勉強会(ASTER出張セミナー) in 長崎</u>	長崎
—	2020/02/02	<u>NaITE - Tours in Nagasaki vol.3</u>	長崎
—	2020/03/14	<u>NaITEもくもく会 vol.10 in 福岡</u>	福岡
—	2020/03/14	<u>NaITE Night vol.13 in Fukuoka</u>	福岡
—	2020/10/31	<u>5th長崎QDG</u>	長崎

- 概ね二ヶ月に一回のペースで勉強会やイベントを開催
- 東京での勉強会を軸に, 福岡, 長崎での実施回数の増加
- 新たな取り組みとして「NaITE-Night」「もくもく会」を開催



4th 長崎QDG

年に一度、長崎にて勉強会イベントを開催

- 2019年は第4回目の開催

概要

- 長崎で行う、ソフトウェア品質技術や開発の技術を取り上げるイベント
- 技術やエンジニアの連携や交流を促進する場

開催レポート

- プログラム・参加受付ページ:
<https://nagasaki-it-engineers.connpass.com/event/122763/>
- 開催レポート:
https://www.slideshare.net/NaITE_Official/4thqdg-190055795

Agile Japan 2019 長崎サテライト

Agile Japan 2019 のサテライト開催

- 長崎でのサテライト開催としては今回が4回目

概要

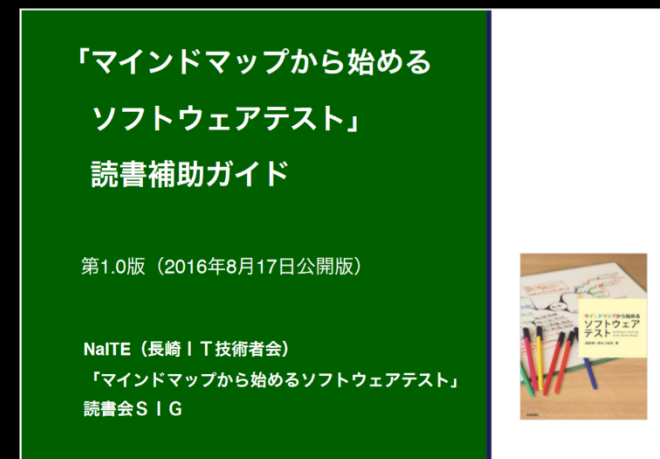
- Agile Japan 2019の録画コンテンツの上映
- ゲスト講師による講演
- アジャイル実践者によるセッション

開催レポート

- プログラム・参加受付ページ:<https://nagasaki-it-engineers.connpass.com/event/125262/>
- 開催レポート:<http://naite.swquality.jp/?p=1112>

マインドマップから始めるソフトウェアテスト 読書会SIG(終了)

- 活動概要
 - 書籍「マインドマップから始めるソフトウェアテスト」の各章まとめ発表を行い、その後実際にマインドマップを描き、議論し理解を深める
 - 議論内容をベースとして、「マインドマップから始めるソフトウェアテスト」の読書補助ガイドを作成する
- 活動期間、活動形態
 - 2015年10月～2016年3月（活動終了）
 - 月一回の定例会の開催
- 成果物
 - 定例会成果物（非公開）
 - 各章のまとめスライド
 - 各回の実施レポート
- 活動まとめ成果物（2016年8月17日公開）
 - 「マインドマップから始めるソフトウェアテスト」の読書補助ガイド



バグ票システム検討SIG(終了)

- 活動概要
 - バグ票システムの立ち上げにおける様々なことを議論しながらガイド等にまとめる。
- 活動期間, 活動形態
 - 2016年4月～2017年3月 (活動終了)
 - MLおよび定例会や合宿
- 想定する成果物
 - ガイド等のドキュメント
 - 長崎QDG2016での発表
 - その他, ポスター発表や論文投稿など
- 成果物
 - はじめてのバグ票システム ～導入実践ガイド 1.1



長崎の地域振興に取り組んでいきます！

個人の思いからスタートしていますが、より長崎の地域貢献に取り組んでいきたく、共に活動していただける方を募集しております

- 勉強会に参加し切磋琢磨いただける方
 - 楽しく、真剣に、技術力を向上しましょう！
- 活動をご支援いただける企業の方
 - 企業が盛り上がってこそです！
- スタッフとして、ともに未来を作っていただける方
 - 長崎や技術者、業界に貢献していきましょう！

まずはお気軽にご参加＆お声がけ下さい！

長崎 Software Quality and Development Gathering とは

長崎QDGについて、簡単にご紹介します。

長崎QD&Gとは

長崎 Software Quality and Development Gathering とは？

長崎QDGとは

ソフトウェアの
品質 と 開発 の
技術を取り上げる
技術カンファレンス

長崎QDGとは

特定の分野や技術に限定せず、
プロジェクト遂行上必要となる
すべての技術を対象として
幅広く議論する場

(参加者・登壇者・実行委員すべてが
それぞれの立場から平等に議論する)

5th 長崎QDG 開催概要

長崎QDGについて、簡単にご紹介します。

今回は記念回です！

- NaITEは2020年4月に5周年を迎えました！
 - NaITEの勉強会は、初回は講師一人、参加者0人から始まりました
 - 今では、NaITEの勉強会開催回数は30回以上となり、コンスタントに数十人が集まる規模に成長しました
- 長崎QDGは今回で5回目を迎えました！
 - 長崎QDGは、初回は、講師・参加者とも長崎からの参加は0人からはじまりました
 - 長崎QDGは、参加者、講師、実行委員の半数以上が長崎からになりました
- これまでのご支援に深く感謝いたします！
- また、本日は15夜、ハロウィンという素晴らしい日です
- 皆様にすばらしいおかし（知識や知恵、ノウハウ）をプレゼントします！

イベント概要

イベント名

- 5th 長崎QDG (5th長崎 Software Quality and Development Gathering)

日時

- 2020年10月31日(土) 10:30~18:40(予定)

場所

- CO-DEJIMA(長崎市)

プログラム概要

- スペシャルセッション(基調講演) 2件
- AFFORDDコラボセッション 1件
- 技術セッション 1件
- 事例セッション 2件
- パネルディスカッション 1件


ご共催/後援/協賛団体

後援

- 長崎県
- 公益財団法人長崎県産業振興財団
- 派生開発推進協議会
- 特定非営利活動法人ソフトウェアテスト技術振興協会
- ソフトウェア技術者協会
- 情報処理学会九州支部
- 電子情報通信学会九州支部
- 長崎新聞社

イベントサポーター

ゴールドサポーター

- うさぎ組 

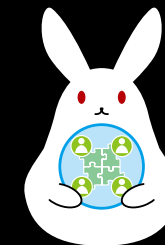
シルバーサポーター

- 株式会社NDKCOM



ホワイトサポーター

- 株式会社アドミン



うさぎ組

29

kyon-mm.com

所属 47機関

アジャイルコーチ、アーキテクト

新規事業、大規模アジャイル、新卒研修
お仕事のご依頼おまちしています



プログラム・タイムスケジュール

#	時間	講演タイトル	登壇者
1	10:30~10:50	■ オープニング	実行委員会
2	10:50~12:20	■ スペシャルセッション「未来社会実現のためのデジタル・トランスフォーメーション（DX）」 ～長崎県におけるA IやI o T等の先端技術の活用と体制～	三上 健治 氏（長崎県）
3	13:00~13:30	■ AFFORDDコラボセッション「要求開発のニューノーマル ～フルキットを実現するUSDM～」	古畑 慶次 氏（デンソー）
4	13:30~14:00	■ 事例セッション1「もってこ開発事例「地域テイクアウトサービスアプリの短期開発とその派生」	浦崎 風 氏（アドミン）、小川 翔也 氏（長崎大学）
5	13:50~14:20	■ 長崎QDGサポーターセッション ゴールド「うさぎ組様」	サポーター各位
-	14:20~14:35	休憩	-
6	14:35~15:05	■ 技術セッション1「AI vs テスト技術者 ～テスト技術者がこの先生きのこるには～」	喜多 義弘 氏（長崎県立大学）
7	15:05~15:35	■ 事例セッション2「集成塾 ～進化するエンジニアの自己研鑽～」	小川 雄太 氏（デンソー）
-	15:35~15:50	休憩	-
8	15:50~16:05	■ LT（ライニングトークス）セッション	申込者各位
9	16:05~17:05	■ スペシャルセッション2「新型コロナ後のI Tエンジニアの健康を考えよう」	橋口 和義 氏（雪の聖母会）
-	17:05~17:20	休憩	-
10	17:20~18:20	■ クロージングパネル 「ソフトウェアで長崎を変えよう ---新しい時代の長崎ならではの産官学のエコシステム構築に向けて---	モデレータ：日下部 茂 氏（長崎県立大学） パネリスト：三上 健治 氏（長崎県） 中野 一英 氏（NDKCOM） 川口 肇 氏（MuuMu）
11	18:20~18:40	■ クロージング	実行委員会

実行委員会

共同実行委員長

- 池田 暁 (NaITE)
- 日下部 茂 (長崎県立大学)

実行委員

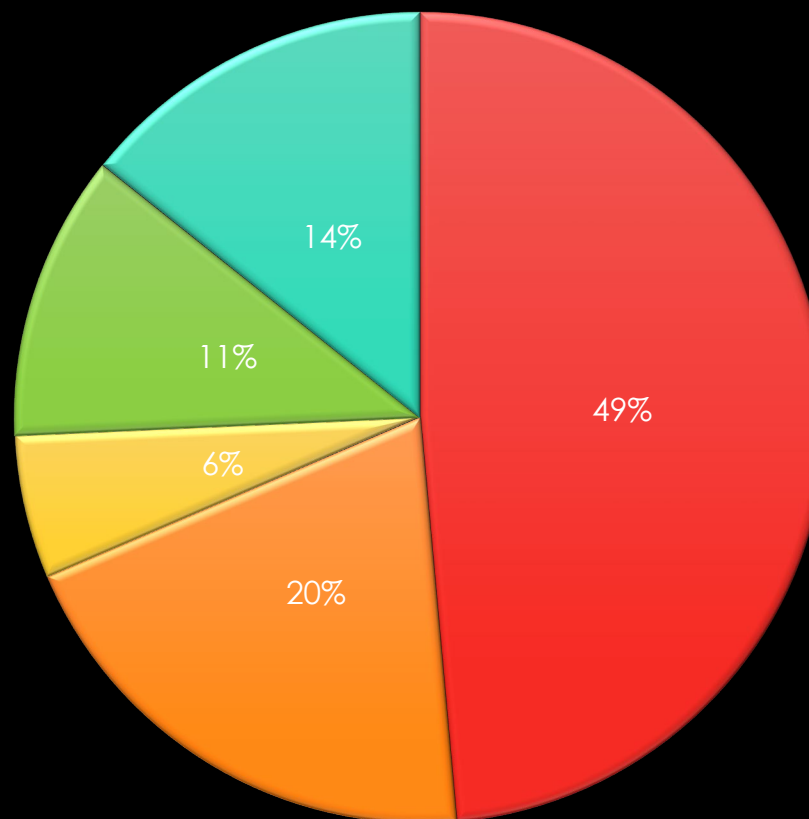
- 浦崎 風 (アドミン)
- 小笠原 秀人 (千葉工業大学)
- 岡田 悠聖 (長崎県立大学)
- 要谷 貴則 (NaITE長崎支部)
- 喜多 義弘 (長崎県立大学)
- 前田 りえこ (長崎県立大学)
- 金田 直純 (NaITE関東支部)
- 古畑 慶次 (AFFORDD)
- 佐藤 陽春 (5th長崎QDG実行委員会)

当日運営スタッフ

- すずき しょうご (NaITE関東支部)

本日の参加者

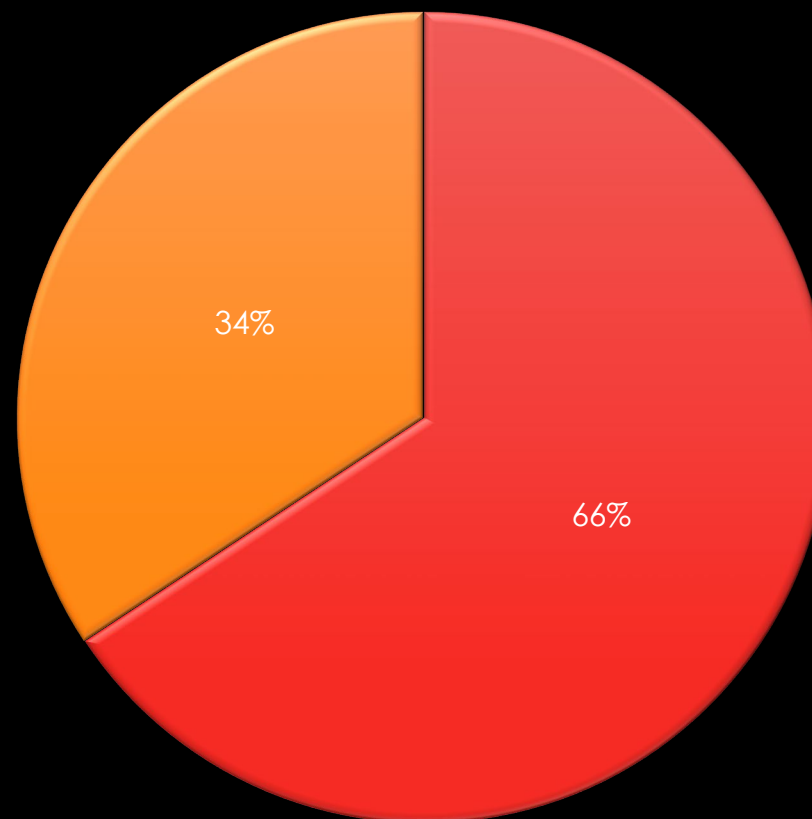
本イベントにはどちらからの参加ですか？



■ 長崎市内 ■ 長崎県内の長崎市以外 ■ 九州内(長崎県以外) ■ 東海 ■ 関東

本日の参加者

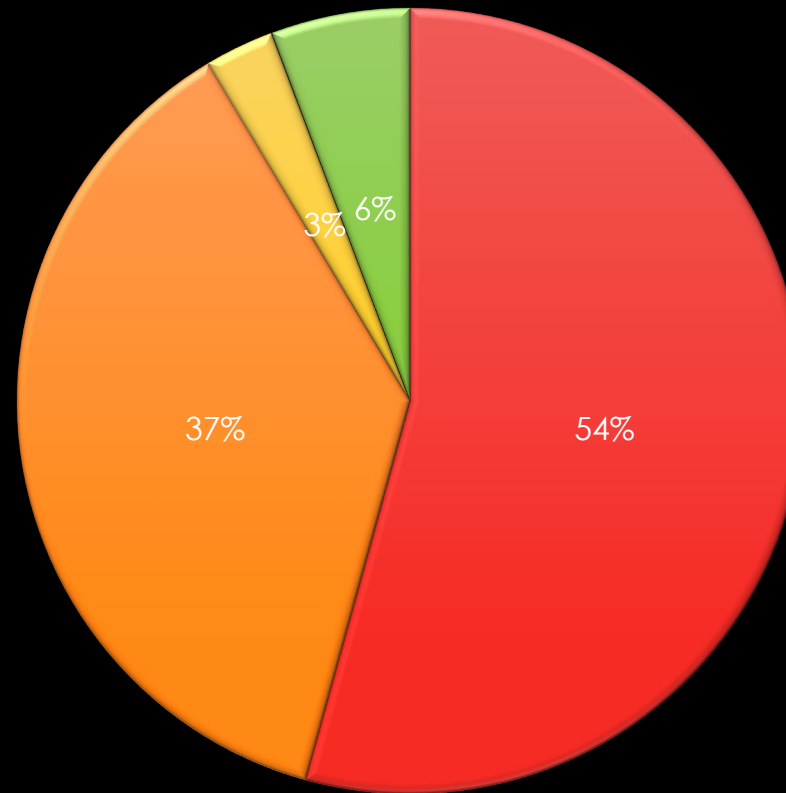
ご所属は長崎県内に本社・本部がある企業/団体ですか？



■ 長崎県内に本社・本部がある ■ 長崎県内に本社・本部がない

本日の参加者

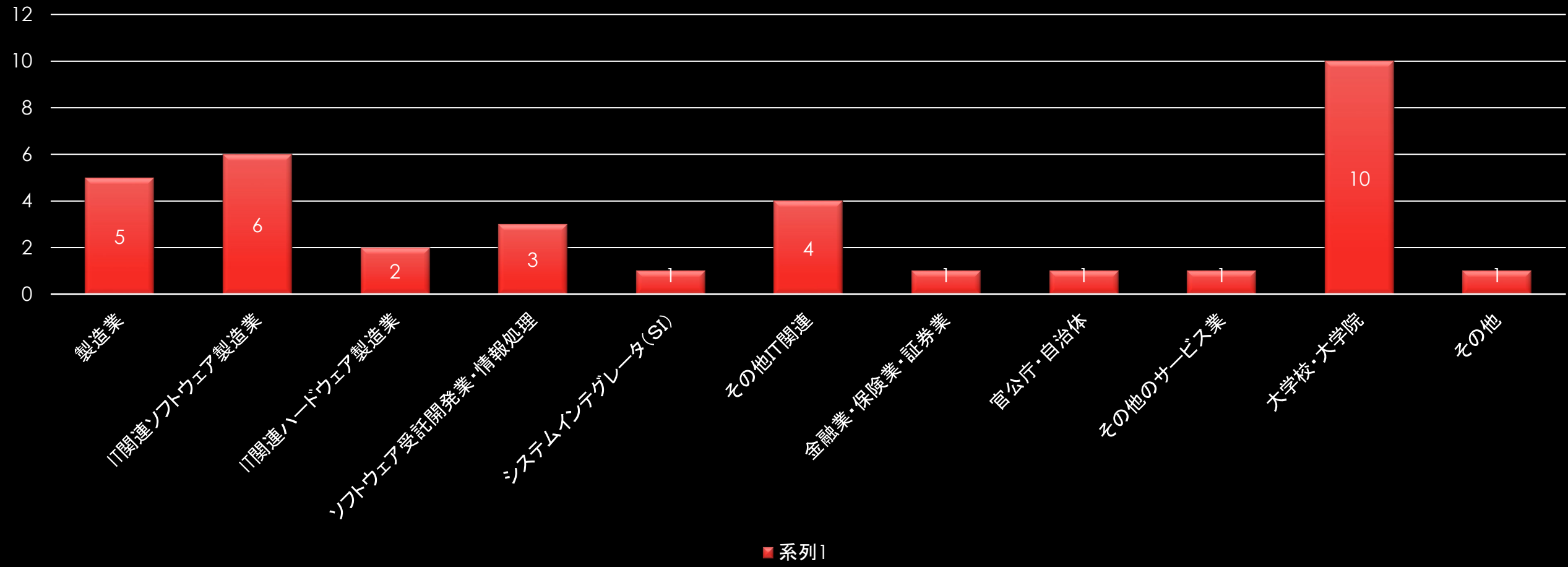
NaITE(長崎IT技術者会)主催の勉強会・イベントへのご参加は何回ですか？



■ 初めて ■ 2~4回 ■ 5~9回 ■ 10回以上

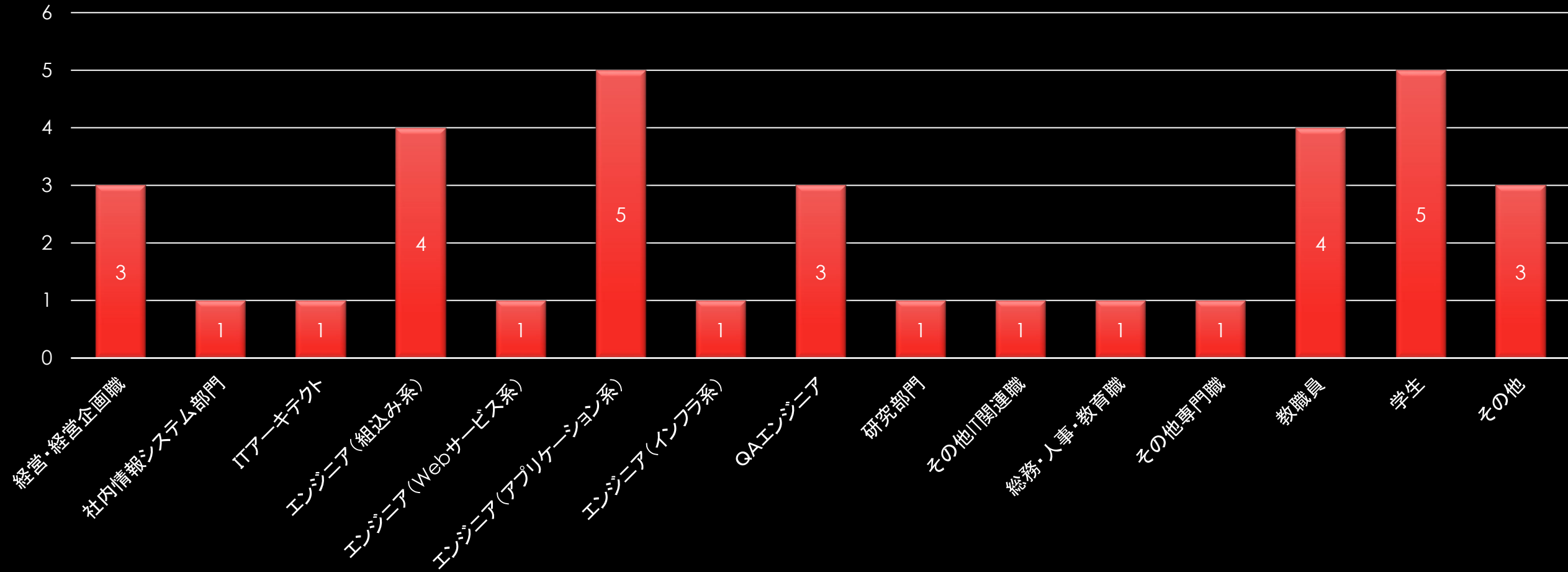
本日の参加者

業種



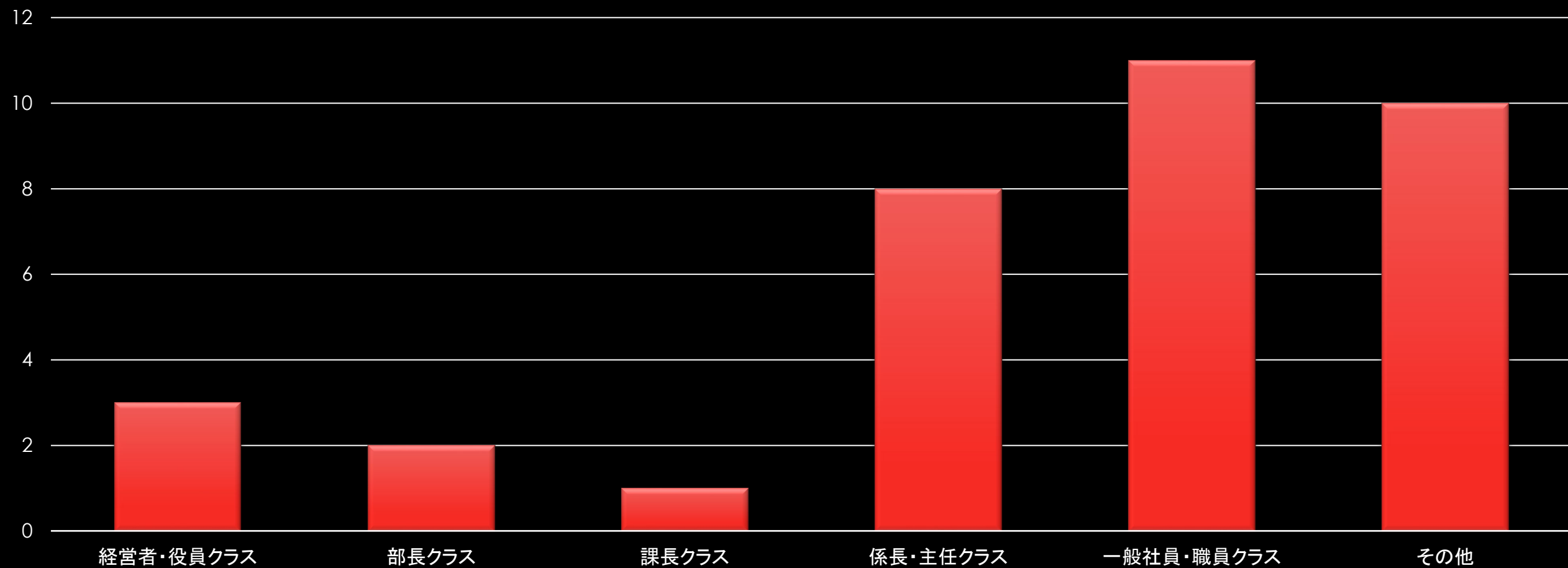
本日の参加者

職種



本日の参加者

職位



5th長崎QDGのグランドルール

積極的に聞こう

- より深く発表を聞き, 内容を深く理解しよう

積極的に議論しよう

- 自身の疑問点を晴らし, かつ登壇者にフィードバックしよう

積極的に交流しよう

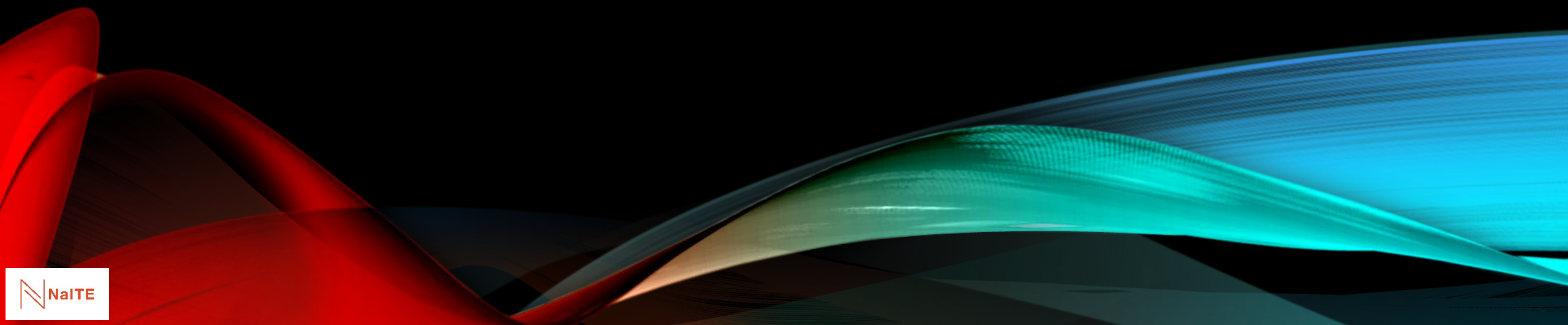
- 交流を通じて, お互いの知恵や知見や知識を授受しよう

5th長崎QDGのグランドルール

Gathering

超重要

注意事項・諸連絡



オフライン開催にあたっての方針

CONNPASS申し込みページ記載内容

- 長崎QDGのコアミッションの一つである「交流」の尊重および場の維持を重視して、オフラインイベントとして開催する
- ソーシャルディスタンス確保のため、開催規模（定員・席数）を縮小する（会場定員の50%以下とする）
- 全参加者に感染予防措置を徹底いただく（国や会場の規定を参考にした規定についてご同意いただきます）
- 後援・協賛については、今回は積極的なお願いは自粛する
- イベント後の情報交流会は中止する（宴会類は実施しない）
- その他、全員の安全を最優先とした運用とする（華美にせず、シンプルな運営）
- 今後の情勢により、開催リスクが高まった場合、予告なくイベントを中止する

新型コロナウイルスにかかるお願い・注意事項

CONNPASS申し込みページ記載のご注意事項

- 感染者および濃厚接触者は参加をご遠慮ください
- 当日発熱等、新型コロナウイルス感染のリスクが生じた方は参加をご遠慮ください
- 当日はマスク着用や消毒などの感染予防を対応いただけない方はご参加いただけません
- 開催会場指定の新型コロナウイルス対策に従えない方は参加をご遠慮ください
- 当日は、体調に関する確認票を記入し、会場受付時に提出ください
- 当日は、フェイスガードを着用頂く予定です
- 詳しくは申し込みフォームでご了承・同意いただきます

イベントについてのお願い・注意事項

CONNPASS申し込みページ記載のご注意事項

- 本イベントは参加者・講師・実行委員全てがそれぞれの立場から交流し議論する場です。したがって全員が平等に参加費を支払って参加します。
- 本イベントの内容は講演者や主催者の都合により予告なく変更する場合があります
- 参加者による撮影や録音は禁止いたします
- イベント開催記録として写真・動画にて記録いたします。記録した写真などは開催レポート等に掲載することがあります
- 当日の資料の紙での配付はございません
- 当日の発表資料については講演者により、本イベント終了後に本ページかSlideshare等で公開されます
- 理由がありキャンセルする場合はお早めに処理をお願いします
- 参加される方は、参加申込み完了時点で本注意事項にご了承・同意いただきます。

注意事項 & 連絡事項

講演について

- 講演中は、携帯電話はマナーモードにしてください。
- 講演中の写真撮影・録画・録音は禁止いたします。
- 講演者がここだけの話といった情報については、他への公開をご遠慮下さい。

本イベントのハッシュタグ

- 「#長崎QDG」です。
- 講演についてのご注意事項をお守りの上、ぜひ積極的にお願いします！

注意事項 & 連絡事項

NaITE・実行委員会による開催後レポートについて

- NaITE作成のレポートを公開する予定です
- メディアにもレポート記事を公開する可能性があります

参加者各位による開催後レポートについて

- **Blogなどぜひ積極的にお願いします！**
(わりと実行委員会は楽しみにしています)

長崎から 近代IT技術発展を！

かつて日本における近代工業の発展は
長崎から始まったと言っても過言ではありません
近代IT技術の発展も長崎から！



5th長崎QDG 開催レポート

(5th長崎Software Quality and Development Gathering)

NaITE (長崎 I T 技術者会)

レポート報告者

前田 りえこ (長崎県立大学)

岡田 悠聖 (長崎県立大学)

金田 直純 (NaITE関東支部)

当日は35名の参加により賑々しく開催！



- 5th長崎QDGは2020年10月31日(土)に予定通り開催しました。
- 当日は気持ちが良い晴天に恵まれました。
- 今回は総来場者数35名と、前回の4th長崎QDGに引き続き、最大規模での開催となりました。
- 新型コロナウイルス禍での開催でしたが、参加者および運営委員により万全の対策を行い開催に至りました。
- セッションの分野は多岐にわたり、前線で活躍するエンジニアによる開発事例や最新技術、自己研鑽に関するセッションに加え、行政や医療目線からみたソフトウェア開発に関するスペシャルセッションもありました。

オープニングセッション

5th長崎QDGはNaITE代表の池田暁 氏の開催挨拶にて幕をあけました!

- 5回目の開催となる今回は事前申し込みベースで27名, 当日の来場者など合わせると35名の規模となり過去最大の規模で開催となりました.
 - 地元長崎からの参加者が半数以上と地域に根差したものとなった
- 「QがよければCとDもおのずとついてくる」という言葉もあり, Qualityを先に記載して「長崎QDG」となっている.
- プログラムに関して, 特定の分野や技術に限定せず, プロジェクト遂行上必要となるすべての技術を対象としている.
- 今回は記念すべきNaITE設立 5 周年&長崎QDG 5回目という記念回.
 - 5周年を記念してグッズを作りました!
- 本日はハロウィンなので, おかし (情報・知識・ノウハウ) をたくさんプレゼントいたします!



スペシャルセッション

「未来社会実現のためのデジタル・トランスフォーメーション(DX)」 ～長崎県におけるAIやIoT等の先端技術の活用と体制～

三上 建治 氏（長崎県）からは、新型コロナの存在を前提とした今後の新しい体制が社会・産業・行政に対し求められていく中、デジタル技術（ICT）がどのように進展・貢献していくのかを、最先端の技術の開発状況、技術・制度的な課題、国・地域（県）の取り組みとともにご紹介いただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- ・ デジタル・トランスフォーメーション(DX)時代を勝ち残るために、「攻め」（今後を変える何が必要かを見つけ、すぐに実現できる組織体制）、「守り」（変化をとらえ、対応できること）、「責任」（環境や地域などの社会課題解決に資するビジョンを持つこと）、「連携」（オープンイノベーションなどの新しい技術を活用すること）が重要である。
- ・ DX時代を勝ち残るために「ニーズを考えること」と「デジタル技術（ICT）を知ること」の両方が必要である。
- ・ 紹介された事例からも、子どもの頃に描いていた近未来がすぐ近くに迫っていることが実感できた。
- ・ 今後、新型コロナウイルスの存在など、先の見えない状態を前提に、勝者となるためのイメージを伝えていただいた。



AFFORDDコラボセッション

「要求開発のニューノーマル ～フルキットを実現するUSDM～」

古畑 慶次 氏 (AFFORDD) からは、要求開発の根本的な問題を解決するために期待できる要求仕様の表記法としてUSDM(Universal Specification Describing Manner)を解説していただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- 現在のソフトウェア開発におけるプロジェクト遅延や悪循環なシステム開発、システムの品質低下の問題は、適切な“要件定義”ができていないことが根本的な原因であり、昨今注目されているアジャイル開発では根本的な解決にはならず、要件定義のやり方を見直す必要がある。
- 不適切な要件定義(何を実現すればよいかわからないまま設計に入る進め方)は、別工程や要件管理に悪影響を及ぼし、結果、悪循環なシステム開発、プロジェクト遅延、そしてシステムの品質低下を引き起こす。
- 設計作業の前にフルキット(要件定義の失敗(要件漏れ・不足、要件の曖昧さ・ずれ)を防ぐための万全の準備)が必要であり、効果的なアプローチとして要求仕様の表記法 USDMがある。
- USDMは要求(顧客が実現したいこと)、仕様(要求をどう実現するか)、理由(なぜ顧客がその要求をしているのか)の3要素で記述をする表記法である。



事例セッション

「もってこ開発事例」地域テイクアウトサービスアプリの短期開発とその派生」

浦崎 風 氏（アドミン）、小川 翔也 氏（長崎大学）からは、テイクアウトマッチングアプリの開発事例を通じ、アプリ開発から公開に至るまでの経緯についてご紹介いただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- プロジェクト計画において、「みんなが幸せになれるスケジュール」の重要性を体験談とあわせてご紹介いただいた。
- テイクアウトマッチングアプリ「Mottekoh」は、短期開発（開発から報道まで2週間）かつ少人数のメンバで実現した製品である。
- 一方で、無謀な計画により、メンバの過度な労働負荷、テストの不足、計画変更ができないというリスクを負った状態であったことなどマネジメント課題を実感したとのこと。
- こと消費マッチングアプリ「Yattekoh」の開発は、新型コロナウイルス等の影響で収入が減少した人を支援することを目的に、市場のニーズが「ものを買う」から「こと(経験)を買う」に変化していることと副業の自由化が進んでいることに注目し、「副業」と「こと消費」をマッチングさせるサービスとして開発したアプリとのこと。



長崎QDGサポーターセッション

－ 学びを止めるな QDG 5th － うさぎ組様

Kyon_mm 氏（うさぎ組）からは、ビデオ配信によるサポーターセッションを実施していただきました。学びを止めない・継続するために重要なことは何かをグループワークを中心に体験的に学習する機会を与えていただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- 新しい取り組みを継続することは意外と難しい。継続し続けるためには“自分が続けられるパターン”を見つけることが重要であることを、グループワークで各自の実体験を振り返り、共有し合うことで体験的に学習させていただきました。
- 次のテーマでグループワークを実施（例：報告者のグループ）
 - 「新しく始めたことの中で、合計時間が10時間以上続いていることは何か？」
 - ソフトウェアの開発、ソフトウェア開発の勉強、開発技術の勉強会、ダイエット
 - 「なぜ、それを続けられたか？」
 - 支えてくれる環境、人がいるから続けることができる
 - 最初に動機があると、モチベーションが湧き続けることができる
 - 挑戦すること、成長している実感が湧くこと自体が楽しいから続けることができた
 - やらざるをならない環境に身を置くことで続けることができた



技術セッション

「AI vs テスト技術者 ～テスト技術者がこの先生きのこるには～」

喜多 義弘 氏（長崎県立大学）からは、ソフトウェア開発においても自動化の波が押し寄せる中、テスト技術者がこの先どのようにAIと共存し、そして生きのこるのかを、AIの特徴を紐解きながら、テスト技術者の存在価値について解説していただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- AIは膨大なデータにアクセスし学習することで情報処理を行うことが可能である。一方で学習データがない状況下ではクリエイティブな作業を行うことはできないとのこと。
- AIのメリットを活かし、デメリットを人間が補うことで、AIと人間がどのように共存可能か考えることが重要である。
- AIにより定型的作業(流れ作業になっているもの)は自動化・効率化し、一方で、人間により流動的作業(問題発見・課題解決、創意工夫、新しいことへの挑戦)は実施する必要がある。
- AI搭載システムのテストは、AIの中身がブラックボックスであるためAI非搭載システムのテストと異なり、AIが学習するデータをテストすること、AIの学習を把握・制御することで実現する必要がある。



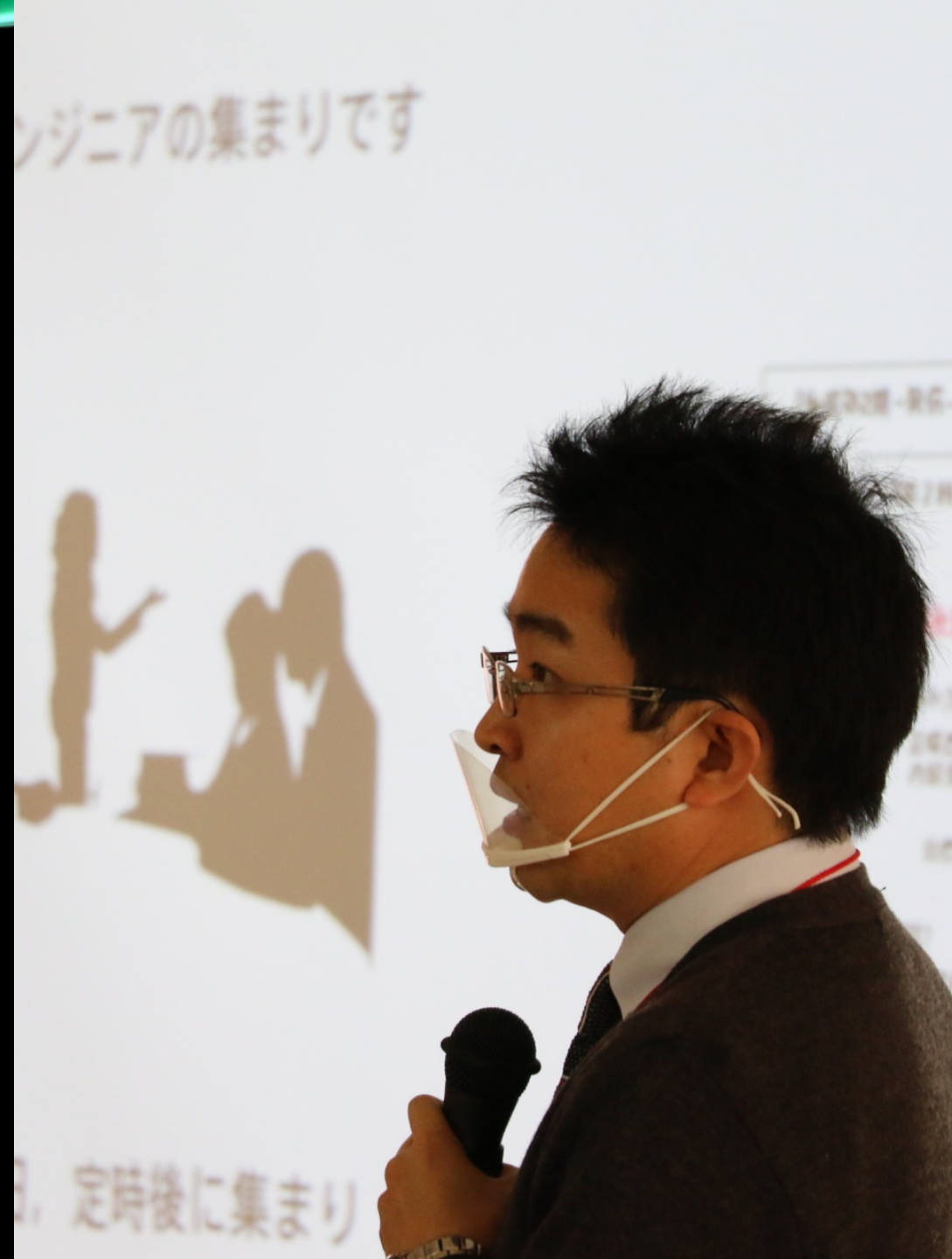
事例セッション

「集成塾 ～進化するエンジニアの自己研鑽～」

小川 雄太 氏（デンソー）からは、新型コロナウイルスの影響で働き方が一変したエンジニアにとって、これからの激動の時代に必要な新たな成長の機会として、デンソー社内で立ち上げたソフトウェア技術者の自主勉強会「集成塾」の事例を通じ、自己研鑽のニューノーマルをご紹介いただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- 「集成塾」の目的は、技術者が現場の技術的な課題を考え出し、現実問題を解決することである。そのために、知識・能力を持つ技術者が定期的に交流する場を形成し、技術者のモチベーション向上、成長の継続を促進している。
- 自己研鑽のオールドノーマルは“学ぶこと”であったが、これからの時代に求められるのは、“学ぶこと”だけでなく“現場での実践”である。よって、自己研鑽のニューノーマルを“現場で実践する力を身に着けること”と再定義する必要がある。
- 自己研鑽のニューノーマルを実行するために、「集成塾」の取組みを次のように再定義したとのこと。
 - 問題解決型の取組みに変革するために、問題解決サークルを結成し、現場課題を抽出・抽象化し、専門家として解決方法を検討する場を形成する
 - 状況を正しく伝える能力を養うために、問答により適切な言葉を使う訓練を行う



LTセッション

LTは1人5分間の持ち時間での発表です.今回は公募を行い, 2名の方にご発表いただきました

1. 「レッツ！水平思考！！」 要谷 貴則 氏

- ロジカルシンキング(垂直指向)で見えているものだけにこだわると,物事の本質を見落とす可能性がある.時にはラテラルシンキング(水平思考)で理論の飛躍・発想の転換・頭の体操を行うことで,新たな発想・イノベーションにつながるかもしれないとのこと.

2. 「セキュリティ関連の取り組み始めませんか？」 日下部 茂 氏

- 情報セキュリティ技術は,ソフトウェア開発において重要性が高く,関心を持つ技術者が増えている.そのため情報セキュリティ技術を学ぶ勉強会などの活動を今後行っていく必要があるとのこと.また長崎県立大学においても情報セキュリティ学科の増員など取り組みを行っているとのこと.



スペシャルセッション

「新型コロナ後のITエンジニアの健康を考えよう」

橋口 和義 氏（社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター 国際保健センター）からは、新たな働き方により発生するストレスや健康上の問題に対して、エンジニアが良いモノづくりをするために重要かつ意識すべき健康改善について医師の立場からお話いただきました。

主なトピックは次のとおりです。

- ・ 技術者の生活には、長時間拘束、不規則な生活習慣、偏った食生活、短い睡眠時間などの健康リスクが潜んでおり、これらは代謝性疾患（いわゆるメタボ）、心臓疾患、脳血管障害、メンタル疾患に影響する。
- ・ メンタル疾患を未然予防するために次の考え方、行動は見直す必要がある。
 - ・ “優秀でなければならない” “一人で解決しなければ” “自己犠牲をいとわない” “完璧主義” “理性的であろうとする”
- ・ テレワーク化が進む一方であまり意識されていないが、次のような在宅環境への考慮が必要である。
 - ・ 作業環境：PC環境・姿勢（椅子、机、照明等）の見直し、業務とプライベート空間の切り分けをするとよい。（作業環境としては、ゲーミング環境を参考にする）
 - ・ 運動：定期的に椅子から立ち上がるとよい。（30分に1回（3分））
 - ・ 食事：規則正しい食事（不規則・過食・偏りのある食事になりがち）
- ・ エンジニアが良いものを作るために「徹夜はするな！睡眠不足はよい仕事の敵だ！」と講演を締めくくる言葉を紹介いただきました。



クロージングパネル

「ソフトウェアで長崎を変えよう ---新しい時代の長崎ならではの産官学のエコシステム構築に向けて---

モデレータとして日下部 茂 氏（長崎県立大学）, パネリストとして三上 健治 氏（長崎県）, 中野 一英 氏（NDKCOM）, 川口 肇 氏（MuuMu）を迎え, 長崎が世界や日本のソフトウェア業界をリードしていくために必要な産官学のエコシステム構築に関して, 長崎のソフトウェア業界のこれまでの経緯に詳しい産業界のパネリスト, 長崎県外からのIターンで起業し活躍中の産業界のパネリスト, 県職員として状況を俯瞰的に見つつ産業振興にかかわるパネリスト, 人材育成の拠点と期待される大学からのモデレータ, そして参加者を含め議論を行わせていただきました。

- ・ モデレータ人材育成の拠点は大学（日下部茂氏）
- ・ 長崎のソフトウェア業界のこれまではこの人に聞け！？（中野一英氏）
- ・ 世界・全国・地域視点でアクティブに産業復興！？（三上健治氏）
- ・ 脱ステレオタイプ！新しい風を吹き込む人は！？（川口肇氏）



クロージングパネル

「ソフトウェアで長崎を変えよう ---新しい時代の長崎ならではの産官学のエコシステム構築に向けて---

主なトピックは次のとおりです。

- 新しい時代のソフトウェア開発で重要なことは？
 - ソフトウェアは社会変革の道具と捉え、システム作ることを目的とするのではなく、“企画力(顧客課題解決型サービス)を考えていく必要がある。また実現に向け人材育成と企業間連携の促進が必要がある。
- ユーザに向けてのシステムが広がらない課題にどう対処していくか？
 - ユーザのリテラシーが低く、特定のユーザのみ教育されてしまい、業務の俗人化が発生している
 - 口コミなどで広げて話題として少しずつ行っていく必要がある。
- デジタル技術は発展しているが、企画企業の経営層が中小企業の持つデジタル技術を理解・認知できていない課題はどう対応していくか？
 - 企画企業側のニーズと中小企業が持つシーズを合致させる・結びつけていく必要がある
 - 例：コミュニティでのハッカソン → 企画企業が見てみて良いものだったら商品化を進める。
- IT推進に向け、具体的にどのような活動をしていくか？
 - 銀行からの働きかけにより、企画企業側の課題を抽出し、解決できるデジタル技術をもつ中小企業にオフアーすることで、IT化を促進していく。
 - 長崎県内の企画-中小企業間でサイクルを回すことで、県内のエコシステムを構築し活性化を図る。
- エンゲージメントを高めるためにどう対応していくか？
 - 個人の成長や働きがいが高めることで組織価値を高め、組織の成長が個人の成長や働きがいが高めるというサイクルを回していく必要がある。
- 新しいニーズを見つけるためにはどう対応していく必要があるか？
 - 現在の業務の生産性を上げ、新しいことを企画する時間を捻出する必要がある。そのためには技術者自身が業務の生産性を上げるための技術獲得(学習)が必須である。



クロージング

共同実行委員長 日下部 茂 氏より閉会をご挨拶申し上げます、イベント開催にご協力・ご参加いただいた方々へ感謝やメッセージをお伝えいたしました。

6th長崎QDGは、現在段階では2021年10月を予定で
す！



6th長崎QDGでまたお会いいたしましょう！

62



クロージング後に記念撮影

